



# 虹の原特別支援学校 高等部棟増築工事だより

令和6年4月号

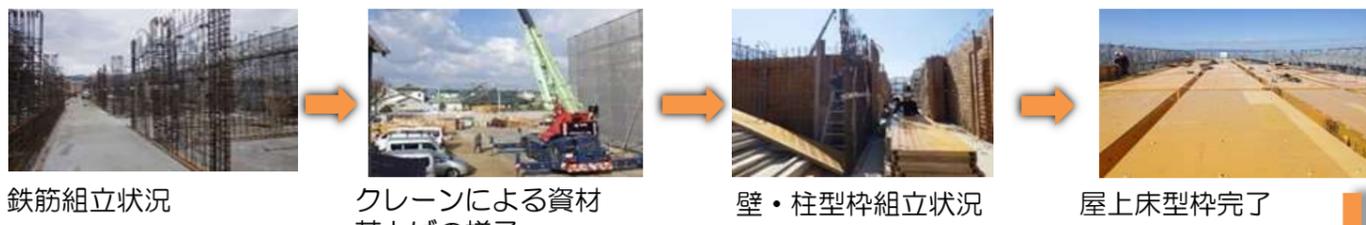
発行担当者：宅島・野副JV 松尾

新年度の慌たしさも落ち着いた頃でしょうか、気持ち新たに笑顔でご活躍のことと存じます。  
日頃より地域の皆様方には、ご理解とご協力を頂きありがとうございます。  
工事もいよいよ中盤、作業する業者が躯体から仕上へと入れ替わっていきます。  
楽しいゴールデンウィークをお過ごしください。良いお天気に恵まれますように。



## 【工事の進捗状況】

今月のメイン工事は「2階壁・屋上、渡り廊下躯体のコンクリート打設」となります。  
朝から夕方まで、多くの生コン車が入り出る大規模な打設工事は今回で最後となります。  
学校ならびに近隣住民の皆様におかれましては、ご理解を賜り厚く御礼申し上げます。



鉄筋組立状況 → クレーンによる資材荷上げの様子 → 壁・柱型枠組立状況 → 屋上床型枠完了



壁鉄筋完了 → コンクリート打設前上空からの様子 → 17日朝礼の様子 入念な打ち合わせ → コンクリート流し込み状況



打設完了後、屋上床仕上げの様子 → 完成状況（翌日）

今回は総数量376m<sup>3</sup>（生コン車94台）でした。  
朝8時30分より打設を開始、一度始めると最後までほぼノンストップで作業を続けます。  
休憩やご飯は交代で取り、18時頃コンクリートの流し込み作業が終わりました。  
その後、左官さんたちがコンクリートの表面を平らにする作業を行い、最終の仕上げが終わったのは23時頃でした。  
今回の作業は総勢約80名の頑張りにより無事に完了しました。



\*知っているても為にならない情報かもしれませんが、  
知っているると自慢できる！？情報

先日、本体最後のコンクリート打設を行いました。「躯体」という建物の身体が出来上がり、長く現場に通って来られました業者さん達が総入れ替えとなります。

次は「仕上げ」という洋服的な部分に入っていきますが、その前に身体を作るのに大活躍した「型枠大工さんの作業道具」を最後にご紹介します。

下の写真は当現場で使われた道具たちです。  
型枠加工のための設計図を昔は手書きしていましたが、最近はパソコンを使い図面を描いて作業に役立てています。



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

番号	名称	主な使い方
1	下げ振り	垂直を見る
2	カネジャク又はサシガネ	直角を見る
3	墨ツボ・墨差し・墨汁	線を引く
4	セパガイド	セパレーターをつかむ
5	番線切（クリッパー）	番線・針金を切る
6	スケール	長さを図る
7	電動丸鋸	ベニヤ板・木材を切断する
8	金槌	釘を打つ・抜く
9	小バール	釘を抜く
10	手鋸	ベニヤ板・木材を切断する
11	水平器	水平を見る



説明担当：高山サン  
(大工バージョン)

次回5月号は、内・外装工事に関わる部分をご紹介します。  
完成まで無事故で終えるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

※工事に関するお問い合わせは、下記までご連絡下さい。

虹の原特別支援学校高等部棟増築工事 作業所  
現場事務所住所 大村市宮小路3丁目(虹の原特別支援学校グラウンド内)  
宅島建設株式会社 0957-75-0222  
施工者：宅島・野副特定建設工事共同企業体 現場代理人：松尾

